**学校保健学特論**（選択・講義２単位））[教職（保健・養護教諭）必修]　　遠　藤　伸　子

**【授業の到達目標および概要】**

子どもを取り巻く様々な環境の変化を受け、児童生徒の健康課題は明らかに変貌を遂げた。それに伴い学校保健に対する社会的なニーズや子どものニーズも変化してきた。望ましい学校保健のあり方・進め方について、現在かかえている学校保健の諸問題や課題を、学校保健の中核とされる養護教諭との関連、学校教育や学校保健組織活動、学校保健安全計画、家庭・地域・専門機関との連携などの諸側面を通して理解する。以上、本特論では、学校保健に係る現状と課題について分析し、今後の対策を検討する過程で問題解決能力と研究的視点を養うことを目標とする。

**【授業計画】**

①② 学校保健の歴史と変遷

学校保健の歴史的変遷とそれに伴う養護教諭の変遷について学習する。

③ 学校保健の意義と目的、領域・構造

現代的な健康課題と健康ニーズに照らし、学校保健の意義と目的を学習する。加えて、学校保健の領域・構造、学校教育と学校保健との関連について学習する。

④⑤ 児童生徒の健康課題と学校保健の動向

児童生徒の健康課題の変遷と近年の学校保健の動向や諸課題について学習する。

⑥～⑩ 学校保健領域における研究方法について

学校保健上の実態調査や課題解決に関する各種研究デザインにより書かれた文献を検討し、各種研究方法について学習する。

⑪～⑭ 学校保健上の課題の設定

学校保健上の課題１つを採択し、問題についての現状分析から問題の整理、問題解決のための取り組みについて学習する。

⑮ 発表・講評

各自選択した課題についての現状分析と取り組み（解決方法や研究計画等）について相互に発表し、討論、講評を行う。

**【授業外学習】**

文部科学省統計、青少年白書、各種書籍等、情報源は問わないが、近年の子どもの問題にはどのようなものがあるかリサーチし、関心を持って講義に参加すること。

**【成績評価の方法・基準】**

課題への取り組み状況 70%、レポート 30%（各自が 15 回目に発表したプレゼンテーションの媒体や発表原稿をレポートのテーマとする）にて評価する。

【教科書】

初回授業で指定

**【参考書】**

初回授業で指定

**【教材】**

随時配布する。

**【備考】**

授業の形態は、講義、討論、作業、プレゼンテーションを含む。自学自習時間は各単元について 180 分以上の予習を行うことが望ましい。大学院なので、現在の知識・経験を総動員しながら主体的に問題解決に取り組むことを期待する。